

試合番号 : 146		試合会場 : エレコム・ロジテックアリーナ (伊那市民体育館)				観客数 : 1,050	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:01		試合時間 : 02:01		主審 : 森口 豊	
副審 : 原 啓之		VC長野トライデンツ		通算 2勝 8敗 ポイント : 6		大分三好ヴァイセアドラー	
通算 1勝 9敗 ポイント : 4		25 第1セット 23		25 第2セット 25		25 第3セット 13	
25 第4セット 23		25 第5セット		3		1	
監督コメント		ホームゲーム、しかも地元の伊那で初勝利をあげる事が出来て本当にうれしく思います。今週準備してきたことをしっかりとコートで出してくれたいです。来週も松本でホームゲームが続きますが、準備をしてのぞみたいと思います。今日は、沢山の応援ありがとうございました。		監督コメント		VC長野のホームゲームでの勢いを止める事ができず悔しい敗戦となりました。セットの入りが悪く、良い流れを作れませんでした。次戦に向けて修正し、もう一度勝利できる様頑張ります。本日も御声援ありがとうございました。	
要約レポート							
1レグを終え共に1勝8敗と波に乗れない、8位大分三好ヴァイセアドラーと10位VC長野トライデンツの一戦。第1セット、序盤から一進一退の攻防が続き、VC長野が池田のスパイク、栗木、パトリックの連続ブロックポイントで20-17とリードすると、大分三好はバグナスのスパイクやブロックで21-21に追いつく。最後は池田のスパイクで、VC長野がこのセットを先取した。第2セットは終盤まで競り合いが続き、VC長野がパトリックの強打で攻めるも、ヤカンのコントロールされた効果的なスパイクやバグナスのブロックが決まり、大分三好がこのセットを奪い返した。第3セット、序盤からVC長野がパトリック、矢貫、栗木の攻撃で圧倒する一方的な展開となった。大分三好は選手交代やタイムアウトでVC長野の勢いを止めようとするも、VC長野が勢いそのままに押し切った。第4セット、再び一進一退の攻防が続き、VC長野は森崎、池田、パトリックの攻撃で得点し、大分三好は勝とヤカンにトスを集め応戦した。しかし、ホームのVC長野が地元の声援を追い風にこのセットも連取。3-1で2レグの初戦を勝利し、待望の今シーズン2勝目を挙げた。							
試合番号 : 147		試合会場 : パークアリーナ小牧 (小牧市スポーツ公園総合体育館)				観客数 : 2,100	
開始時間 : 13:05		終了時間 : 15:06		試合時間 : 02:01		主審 : 村中 伸	
副審 : 中山 健		ウルフドッグス名古屋		通算 5勝 5敗 ポイント : 15		堺ブレイザーズ	
通算 4勝 6敗 ポイント : 14		25 第1セット 19		16 第2セット 25		18 第3セット 25	
18 第4セット 25		25 第5セット		1		3	
監督コメント		まずは堺におめでとうございます。自分たちは相手よりも良い所を見ることができませんでした。今後に向けて色々な事が学べた試合でした。早く切り替えて明日の試合に集中したいと思います。明日も応援よろしくをお願いします。		監督コメント		今日は攻撃も良く、サーブも低いミス率と高い効果率で攻めることができ、またいつも通りのブレイザーらしいブロックもあり、とても良い試合ができました。もっともっと安定感を増やし、精度を高めていきます。今日も熱い応援ありがとうございました。明日もよろしくをお願いします。	
要約レポート							
第1セット、ウルフドッグス名古屋が11-12からフロントロー高松、バックロー高梨の活躍で5連続ブレイクに成功。WD名古屋がそのままリードをキープし、セットを先取した。第2セットは堺ブレイザーズが松本と出ま田の連取で連続得点。さらに出ま田がブロックを決め3-0とした。堺はサーブとブロックで優位に立ち、終盤の連続ブレイクで差を広げ、セットを取り返した。特に17-12からのモリスと松本の連続ブロックポイントが決め手となった。第3セットは逆に0-3と離された堺だったが、千々木の攻撃などで4連続得点を奪い5-4とし早々に逆転に成功。中盤も千々木とモリスの強打などで連続ブレイクが続き、5点以上の差をつけた。終盤は高野・モリスがサービスエースを決め、リードを広げてセットを連取した。第4セットは再び堺がモリスの強打や出ま田のブロック、松本のサービスエースで3-0とスタートダッシュを見せる。さらに5-3から連続ブレイクを奪い、序盤で5点差をつけた。セッター関田の相手を取らすワークがはまり、堺が多彩な攻撃で得点を積み重ねた。長いラリーをことごとく強打でものにした堺は、最後は「チャレンジ成功」によりゲームにピリオドを打ち、逆転で勝利をつかんだ。							
試合番号 : 148		試合会場 : パークアリーナ小牧 (小牧市スポーツ公園総合体育館)				観客数 : 2,300	
開始時間 : 15:55		終了時間 : 17:55		試合時間 : 02:00		主審 : 服部 篤史	
副審 : 城 智人		パナソニックパンサーズ		通算 9勝 1敗 ポイント : 27		サントリーサンバーズ	
通算 7勝 3敗 ポイント : 21		25 第1セット 22		25 第2セット 21		17 第3セット 25	
25 第4セット 17		25 第5セット		3		1	
監督コメント		試合の入りこそ悪かったが、良い集中力を持ち、最後までしっかり戦い抜いてくれた。第3セットは相手のサーブに崩され、また自チームの攻撃も単調になってしまいセットを奪われたが、第4セットはよく持ち直してくれた。明日もよい集中力を持ち戦いたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくをお願いします。		監督コメント		第1セットの競り場面で自チームのミスから相手を楽にしてしまった。第3セットを取れたのは良かったが、第4セットのスタートで相手に勢いをつけてしまった。敗戦したが良いプレーもあり、選手は頑張ったと思う。明日に向けてしっかりと準備したいと思います。本日も応援ありがとうございました。	
要約レポート							
首位パナソニックパンサーズと首位を狙うサントリーサンバーズの一戦。パナソニック清水がVリーグ通算230試合出場となり、また通算得点数の日本記録更新にも注目が集まった。第1セット、序盤はサントリーのムセルスキーと季がアタックで得点を重ねる。パナソニックは中盤に山内のクイックや清水のサービスエースで追い上げ、クビアクのブロックで逆転、終盤に5連続で得点を重ねセットを取った。第2セット、セカンドテクニカルタイムアウトまでにパナソニック清水が6本のアタック、1本のブロックを決める活躍。サントリーはムセルスキーにトスを集め強打で攻めるも、パナソニックがレシーブでなく場面が目立った。パナソニック清水は終盤にも2連続でアタックを決め、このセットで通算得点数の日本記録を更新した。第3セット、サントリーはこのセットから入った星谷が活躍。その後もリードを続け、ムセルスキーの強打が決まり、サントリーがセットを奪い返す。第4セット、パナソニックはクビアクの連続ポイントでいいスタートを切ったが、その後はパナソニック清水とサントリー・ムセルスキーが得点を奪い合う展開となる。中盤、パナソニック久原がムセルスキーのアタックを止めた場面からパナソニックが流れをつかみ、一気に試合を決めた。							
試合番号 : 149		試合会場 : シンヨーオークアリーナ (呉市総合体育館)				観客数 : 2,200	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:28		試合時間 : 01:28		主審 : 國頭 亮太	
副審 : 山本 和良		JTサンダーズ広島		通算 8勝 2敗 ポイント : 23		FC東京	
通算 1勝 9敗 ポイント : 3		25 第1セット 20		25 第2セット 16		25 第3セット 16	
25 第4セット		25 第5セット		3		0	
監督コメント		第1セットの8点目までは、なかなかリズムを掴み切れなかったが、それ以降は主導権を握り、最後まで様子を見せずに勝ち切る事ができた。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。		監督コメント		終始JT広島に押された形で試合が終わってしまいました。良いプレーもあったが、JT広島のプレッシャーが強かったので、難しい場面が増えた。我々はその中でも我慢強く戦っていかねばならない。本日も応援ありがとうございました。	
要約レポート							
レギュラーラウンド好調を維持するJTサンダーズ広島と上位進出への足掛かりをつかみたいFC東京との一戦。第1セット、JT広島のエドガーや山本、FC東京のプレモビッチらがアタックを決めて、中盤まで一進一退の接戦となる。終盤、エドガーや小野寺のアタックでリードしたJT広島が、最後は陳がアタックを決めて先取る。第2セットもJT広島のペース。小野寺のアタックやサービスエース、陳のアタックなどでリードする。FC東京は迫田のアタックやプレモビッチのブロックなどで対抗するも及ばず、JT広島がセットを連取する。第3セットは再び接戦。後がないFC東京は迫田や手塚がアタックを決め、中盤までは互角の展開となるが、JT広島は陳のアタック、小野寺のサービスエースやアタックで抜け出し、リードを広げる。FC東京は小田嶋のアタックなどで追いつけるものの、最後はエドガーがブロックを決めて、JT広島が勝利した。セッター深津を中心とし攻守に安定感を見せたJT広島が、地元の大応援に応え、会心の勝利をあげた。							

試合番号 : 150		試合会場 : シンヨーオークアリーナ (呉市総合体育館)				観客数 : 2,000			
開始時間 : 14:30		終了時間 : 16:42		試合時間 : 02:12		主審 : 富田 博一		副審 : グレック ルーオー	
東レアローズ		通算 4勝 6敗 ポイント : 11		21 第1セット 25		ジェイテクトSTINGS		通算 9勝 1敗 ポイント : 26	
監督コメント 今日の試合は1レグで完敗していたジェイテクト戦ということで、しっかりと準備をしてきました。しかし、フルセットで負けてしまい、とても残念です。まだまだ、チームの約束事が徹底できていない場面もあり、その1点が敗戦に繋がったと思います。しっかりと修正して明日に備えていきたいです。本日たくさんの方の応援ありがとうございました。	2	25 第2セット 22		3	監督コメント 省勢の状況から全員で立て直して勝てたことはとても大きな経験になると思います。また明日の試合に向けて準備してまいります。本日たくさんの方の応援ありがとうございました。引き続き明日もよろしくお祈りいたします。				
		25 第3セット 23							
		20 第4セット 25							
		13 第5セット 15							
要約レポート 好調を維持するレギュラーラウンド2位のジェイテクトSTINGSと、勝って上位進出を狙う6位の東レアローズの一戦。ジェイテクトは安定したレシーブから伏見や鏡のクイックに西田やカジスキのアタックが決まり、リードを保ったまま第1セットをものにする。これに対し、東レはルジェ、星野、戸嵩のアタックや李のブロックが芽え。第2、第3セットを連取した。第4セット、粘りのレシーブから星野や戸嵩のアタックでリードを広げる東レに対し、ジェイテクトは西田、鏡のアタックで追い上げていく。セット後半に西田のアタック、伏見のブロック、中根のサービスエースで逆転したジェイテクトがセットを取り返した。勝負の第5セット、鏡や伏見のクイック、西田のバックアタックが芽えるジェイテクトに対し、東レはルジェのアタック、富松のクイックで対抗し、終盤までもつれる展開となった。お互い粘りのレシーブによる長いラリーが見られた熱戦であったが、最後は東レのアタックミスにより、ジェイテクトが勝利をものにした。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント			第2セット						監督コメント
			第3セット						
			第4セット						
			第5セット						
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント			第2セット						監督コメント
			第3セット						
			第4セット						
			第5セット						
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント			第2セット						監督コメント
			第3セット						
			第4セット						
			第5セット						
要約レポート									